

平塚市図書館の利用と今後のあり方に関するアンケート調査(来館者)集計結果

- 1 目 的 平塚市図書館の利用者が持つ図書館に対するニーズや意見を把握する
- 2 調査方法 中央図書館は1階ロビー、各地区館はカウンターで来館者へ調査票を配布・回収した
- 3 調査期間 令和元年9月6日(金)から9月7日(土)まで
- 4 対 象 中央図書館、北図書館、西図書館、南図書館の来館者
- 5 回 収 数 926通(中央図書館・344通、北図書館・138通、西図書館・210通、南図書館・234通)、うち有効回答数921通
- 6 質問項目 (問1) 1番よく使う平塚市図書館はどちらですか？
(問2) この1年間(2018年9月～2018年8月)で、どのくらい問1の図書館を利用しましたか？
(問2-2) ふだん平塚市図書館を利用していない理由
(はじめての利用者と利用が少ない方への質問)
(問3) 今までに利用したことのある図書館サービス
(問4) 現在の事業に加え、今後の平塚市図書館が重視したほうがよいと思うものはどれですか？
(問4-1) 資料(図書・雑誌)について
(問4-2) スペースについて
(問4-3) イベントについて
(問4-4) 職員について
(問4-5) 施設等について
(問5) 将来の平塚市図書館への考えやアイデア(自由記述)
(問6) あなたのことについて(年齢・お住いの地区・職業)

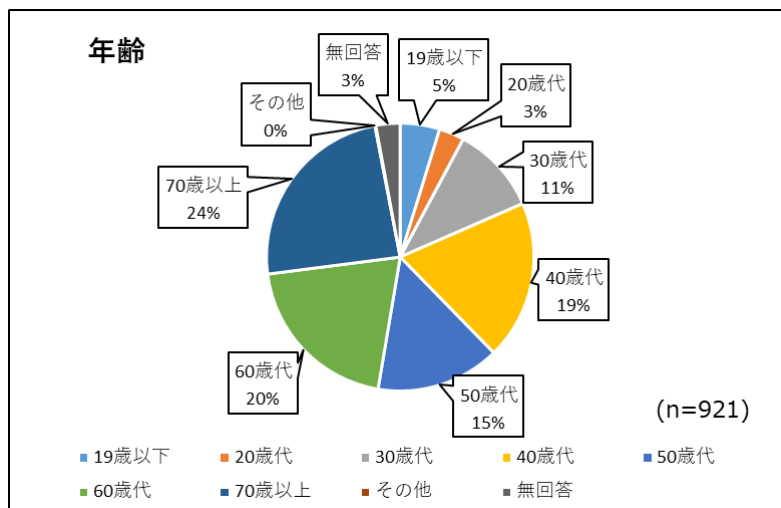
平塚市図書館の利用と今後のあり方に関するアンケート調査(来館者) 集計結果

※表中の率は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

回答者の属性 (※問6の回答より)

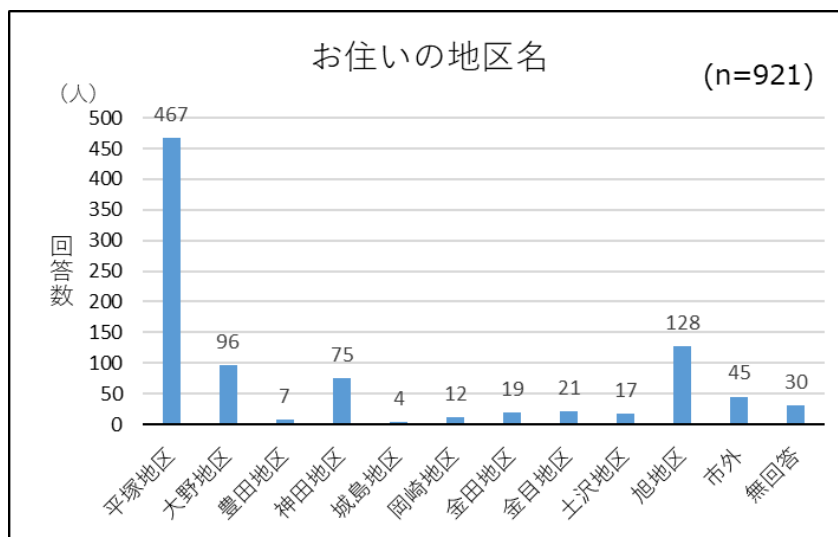
(1) 年齢

	回答数	率
70歳以上	221	24%
60歳代	187	20%
50歳代	138	15%
40歳代	177	19%
30歳代	98	11%
20歳代	28	3%
19歳以下	44	5%
その他	1	0%
無回答	27	3%
合計	921	100%



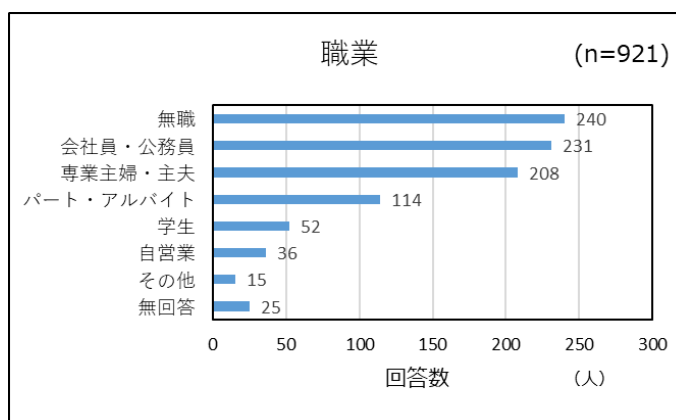
(2) お住いの地区名

	回答数	率
平塚地区	467	51%
大野地区	96	10%
豊田地区	7	1%
神田地区	75	8%
城島地区	4	0%
岡崎地区	12	1%
金田地区	19	2%
金目地区	21	2%
土沢地区	17	2%
旭地区	128	14%
市外	45	5%
無回答	30	3%
合計	921	100%



(3) 職業

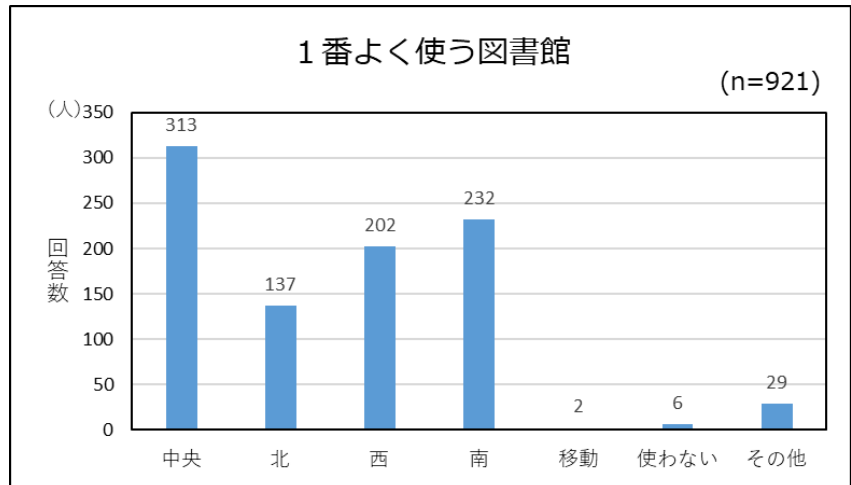
	回答数	率
無職	240	26%
会社員・公務員	231	25%
専業主婦・主夫	208	23%
パート・アルバイト	114	12%
学生	52	6%
自営業	36	4%
その他	15	2%
無回答	25	3%
合計	921	100%



（問１）１番よく使う平塚市図書館はどちらですか？

※1つだけ回答する設問です。複数を選択した調査票は「その他」で集計しています。

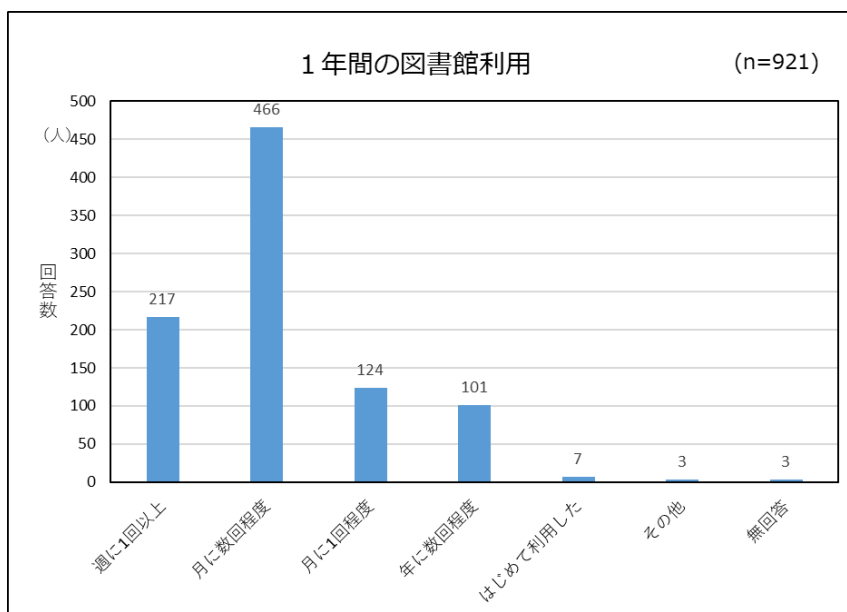
	回答数	率
中央	313	34%
北	137	15%
西	202	22%
南	232	25%
移動	2	0%
使わない	6	1%
その他	29	3%
合計	921	100%



（問２）この１年間（２０１８年９月～２０１９年８月）で、どのくらい問１の図書館を利用しましたか？

※1つだけ回答する設問です。複数を選択した調査票は「その他」で集計しています。

	回答数	率
週に1回以上	217	24%
月に数回程度	466	51%
月に1回程度	124	13%
年に数回程度	101	11%
はじめて利用した	7	1%
その他	3	0%
無回答	3	0%
合計	921	100%

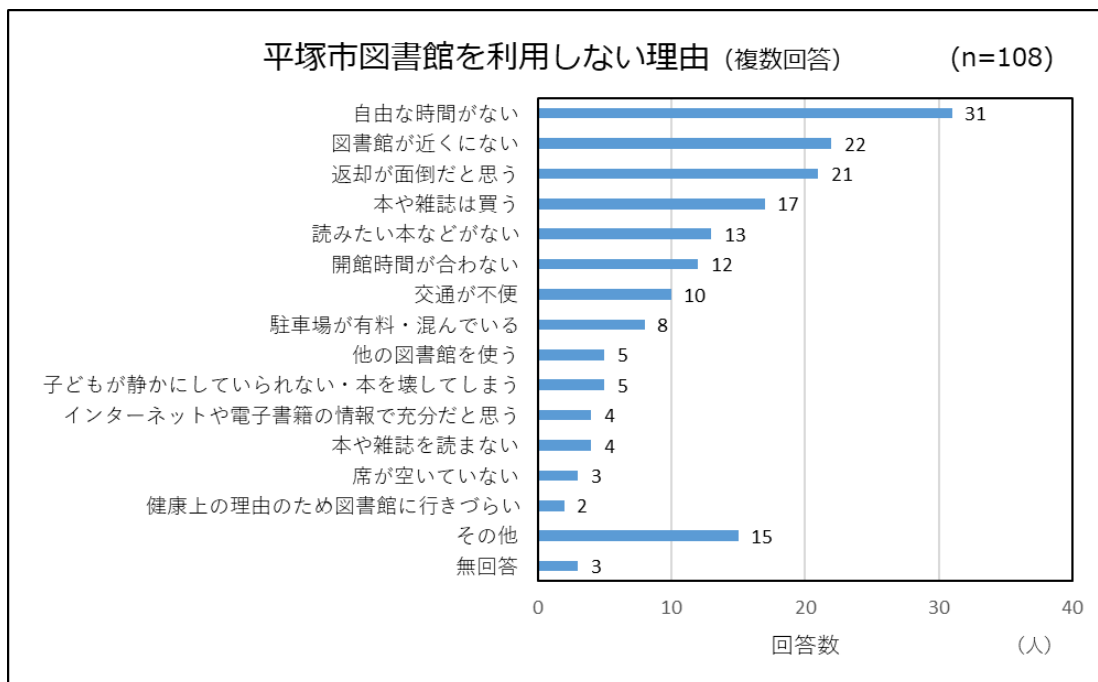


（問２－２）ふだん平塚市図書館を利用していない理由（複数回答）

※問２で「年に数回程度」「はじめて利用した」と回答した方への設問です。

	回答数	率
自由な時間がない	31	29%
図書館が近くにない	22	20%
返却が面倒だと思う	21	19%
本や雑誌は買う	17	16%
読みたい本などがない	13	12%
開館時間が合わない	12	11%
交通が不便	10	9%
駐車場が有料・混んでいる	8	7%
他の図書館を使う	5	5%
子どもが静かにしてられない・本を壊してしまう	5	5%
インターネットや電子書籍の情報で充分だと思う	4	4%
本や雑誌を読まない	4	4%
席が空いていない	3	3%
健康上の理由のため図書館に行きづらい	2	2%
その他	15	14%
無回答	3	3%

(n=108)



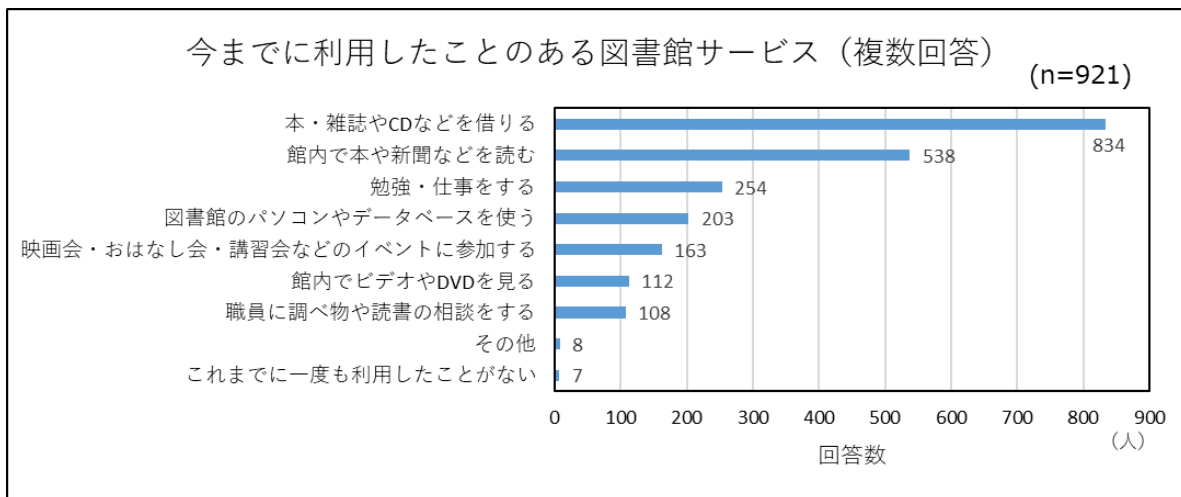
「その他」の主な内訳

- ・仕事が月曜日休みのため。
- ・借りたい本があるときだけ利用する。
- ・勉強が必要になった期間だけ利用する。
- ・本、施設が古くて汚い。
- ・館内の雰囲気が暗い。
- ・パソコンの電源席が少ない。

(問3) 今までに利用したことのある図書館サービス（複数回答）

	回答数	率
本・雑誌やCDなどを借りる	834	91%
館内で本や新聞などを読む	538	58%
勉強・仕事をする	254	28%
図書館のパソコンやデータベースを使う	203	22%
映画会・おはなし会・講習会などのイベントに参加する	163	18%
館内でビデオやDVDを見る	112	12%
職員に調べ物や読書の相談をする	108	12%
その他	8	1%
これまでに一度も利用したことがない	7	1%

(n=921)



「その他」の主な内訳

- ・他館（平塚市外・県外）から資料を取り寄せる。
- ・本をリクエストする。

(問4) 現在の事業に加え、今後の平塚市図書館が重視したほうがよいと思うものはどれですか？

※各質問に4つの選択肢があり、重要と思う順に、順位を記入する設問です。集計にあたり、得点化をしています。

(得点の集計方法)

- (1) 1→4点、2→3点、3→2点、4→1点とする
- (2) 4つの選択肢に全て同じ順位をつけた場合(「1,1,1,1」または「4,4,4,4」と記入) → $(4+3+2+1) \div 4 = 2.5$ 。それぞれの得点を2.5点とする。
- (3) 順位づけせずに選択した場合(「○, ○, ×, ×」と記入) → ○は $(4+3) \div 2 = 3.5$ 。○の選択肢の得点は3.5点とし、×の選択肢は0点とする。
- (4) 4つの選択肢に「1,2,空白,空白」と記入 → 1→4点、2→3点、空白→0点とする。
- (5) 全て空欄 → 無回答とする(n に加えない)。

(回答分布)

順位の分布を示した図です。「その他」は数字以外(○・×・?)等を記載したものです。

(クロス集計)

結果を分析するためにクロス集計を行いました。集計にあたり、次のとおり回答をまとめています。

(1) 年齢

「10～30代」、「40～50代」、「60代以上」の3つにまとめています。

(2) 職業

「学生」・「会社員・公務員」・「自営業」・「パート・アルバイト」・「その他」を「勤労者・学生」へ、「専業主婦・主夫」・「無職」を「主婦・主夫・無職」へと2つにまとめています。

(3) 図書館利用

問2の回答で「週に1回以上」・「月に数回程度」・「月に1回程度」を「定期利用者」へ、「年に数回程度」・「はじめて利用した」を「不定期・非利用者」へと2つにまとめています。

(4) 利用する図書館

問1の回答で、「中央図書館」と回答したものを「中央図書館」へ、他の選択肢を選んだもの、複数選択したものを「地区館等」へと2つにまとめています。

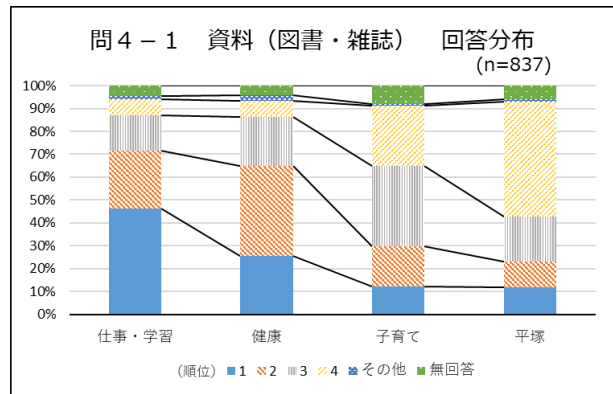
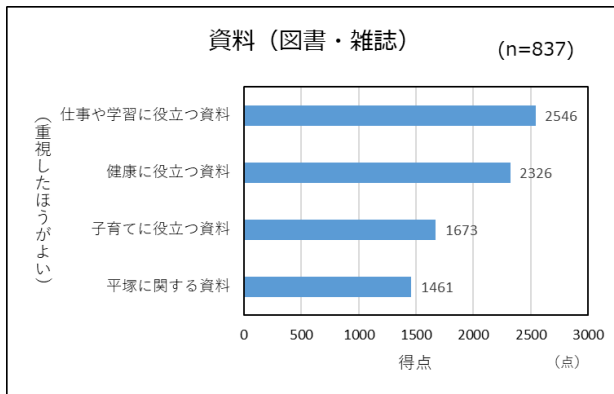
(5) 無回答について

無回答は集計から除いています。

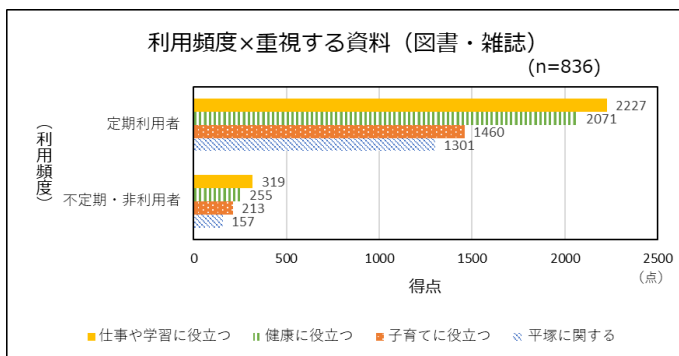
(問4-1) 資料(図書・雑誌)について

重視したほうがよい	得点	順位
仕事や学習に役立つ資料	2546	1
健康に役立つ資料	2326	2
子育てに役立つ資料	1673	3
平塚に関する資料	1461	4

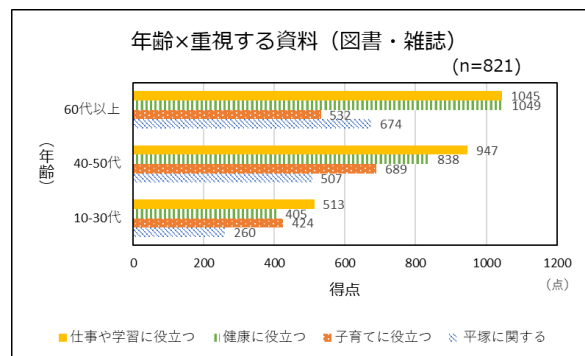
(n=837)



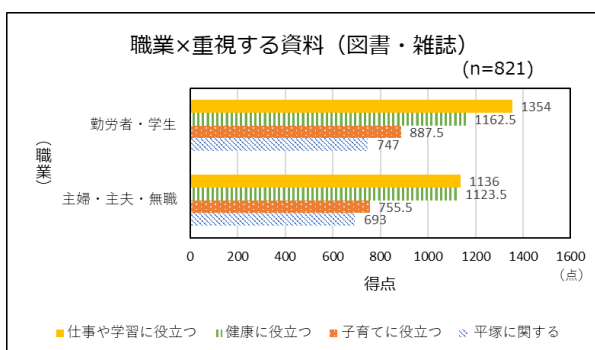
クロス集計(利用頻度×資料(図書・雑誌))



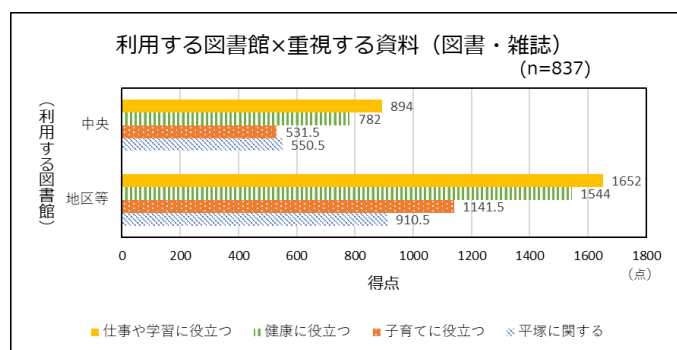
クロス集計(年齢×資料(図書・雑誌))



クロス集計(職業×資料(図書・雑誌))



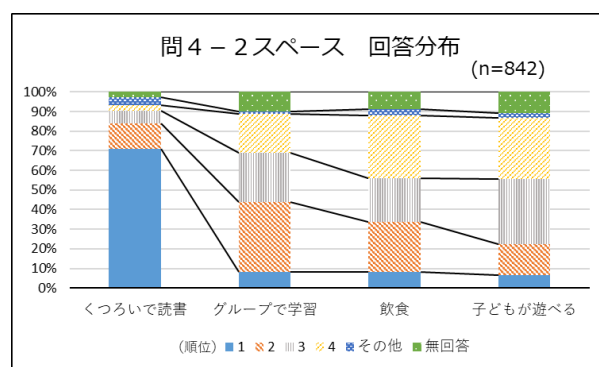
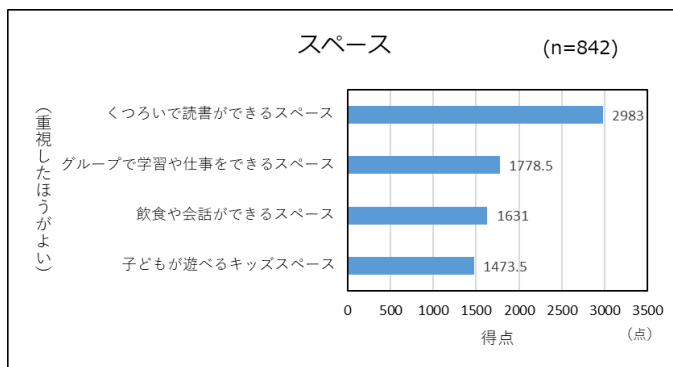
クロス集計(利用する図書館×資料(図書・雑誌))



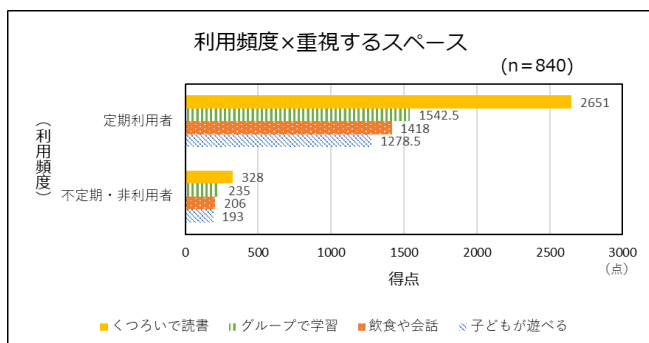
(問4-2) スペースについて

重視したほうがよい	得点	順位
くつろいで読書ができるスペース	2983	1
グループで学習や仕事をできるスペース	1778.5	2
飲食や会話ができるスペース	1631	3
子どもが遊べるキッズスペース	1473.5	4

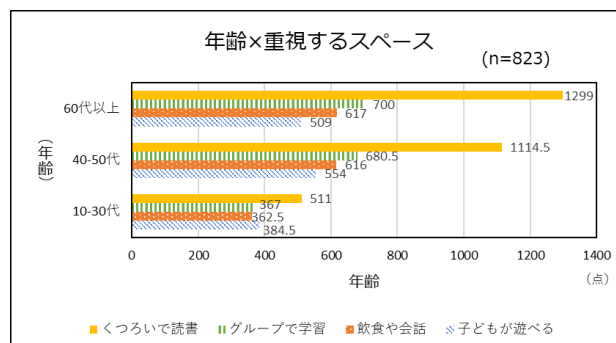
(n=842)



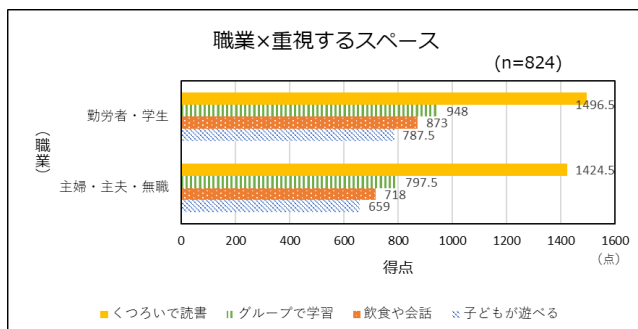
クロス集計(利用頻度×重視するスペース)



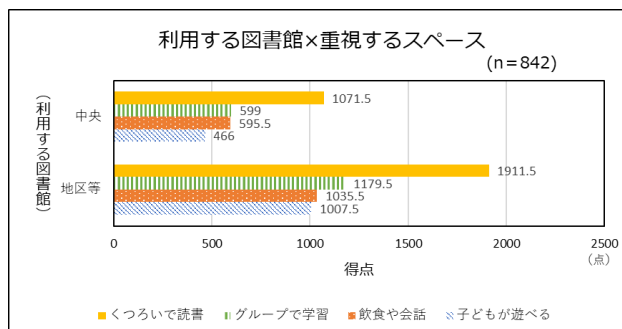
クロス集計(年齢×重視するスペース)



クロス集計(職業×重視するスペース)



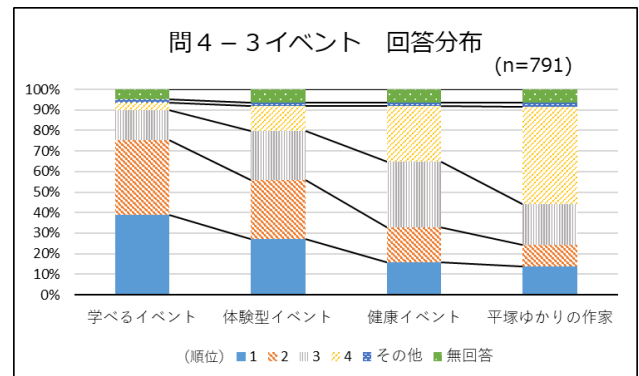
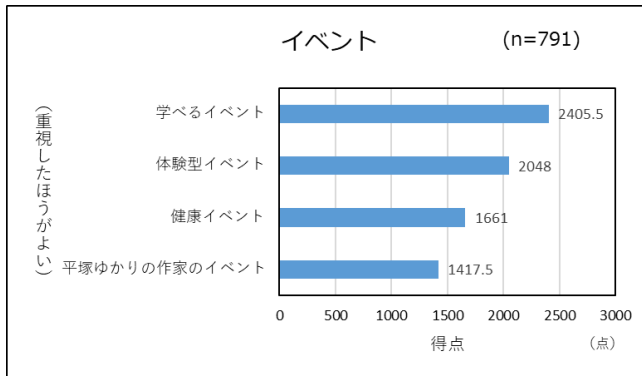
クロス集計(利用する図書館×重視するスペース)



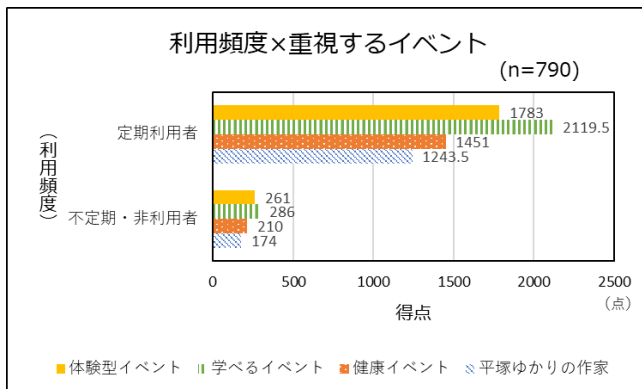
(問4-3) イベントについて

重視したほうがよい	得点	順位
学べるイベント	2405.5	1
体験型イベント	2048	2
健康イベント	1661	3
平塚ゆかりの作家のイベント	1417.5	4

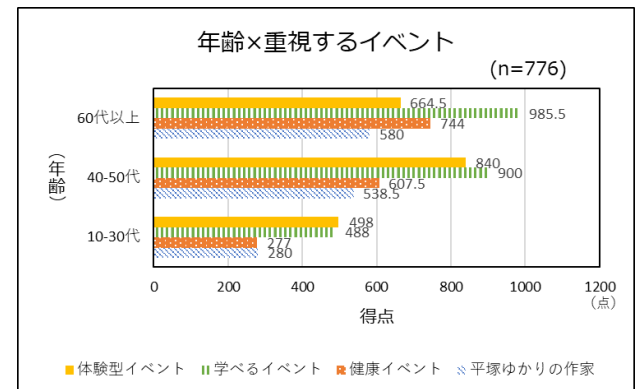
(n=791)



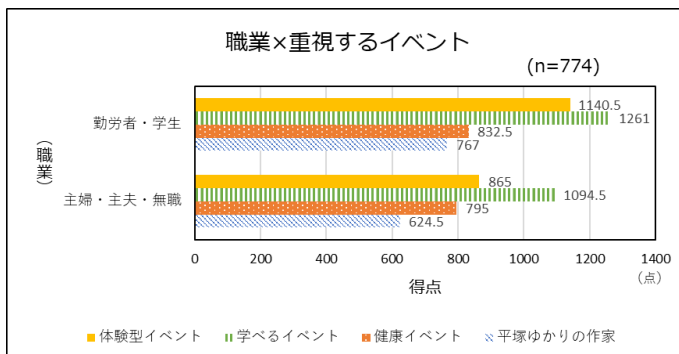
クロス集計(利用頻度×重視するイベント)



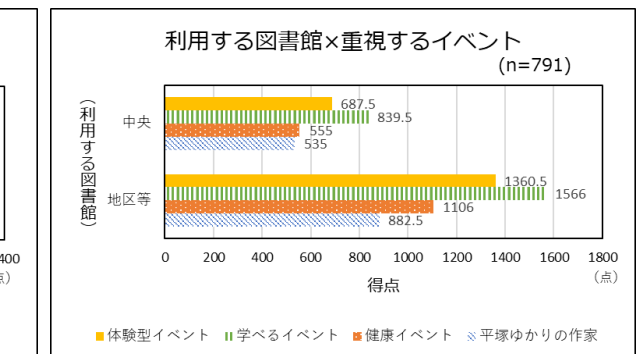
クロス集計(年齢×重視するイベント)



クロス集計(職業×重視するイベント)



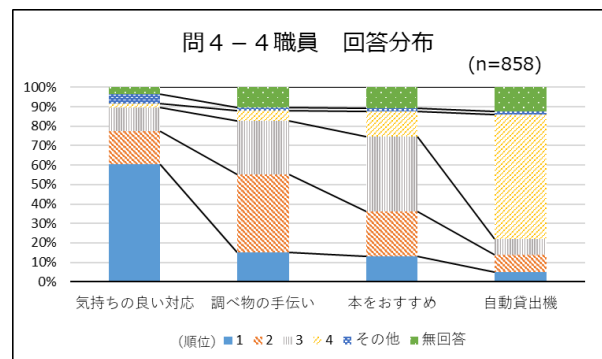
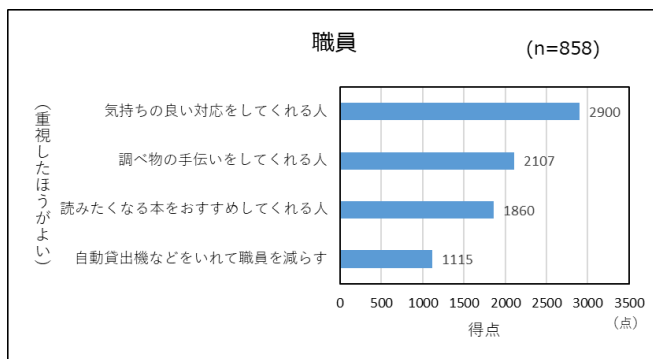
クロス集計(利用する図書館×重視するイベント)



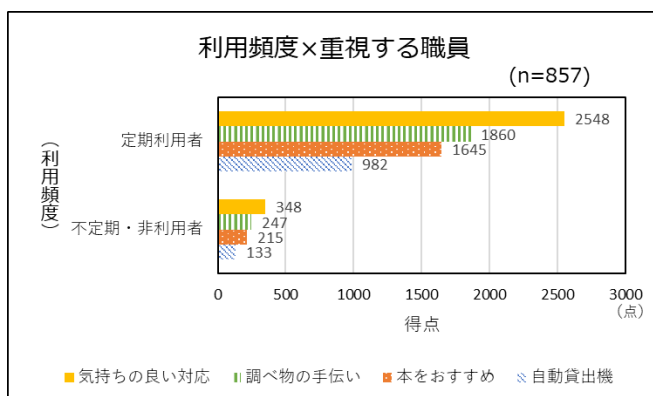
(問4-4) 職員について

重視したほうがよい	得点	順位
気持ちの良い対応をしてくれる人	2900	1
調べ物の手伝いをしてくれる人	2107	2
読みたくなる本をおすすめしてくれる人	1860	3
自動貸出機などをいれて職員を減らす	1115	4

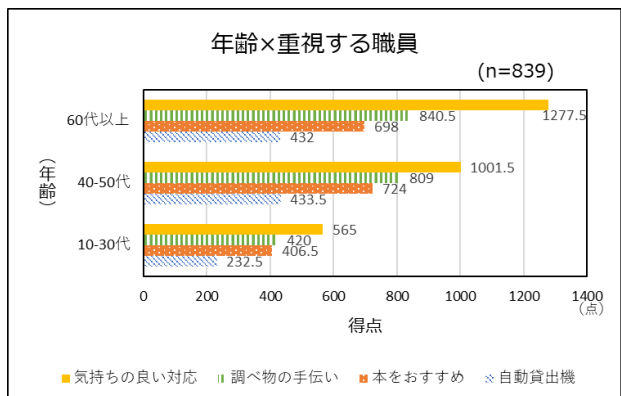
(n=858)



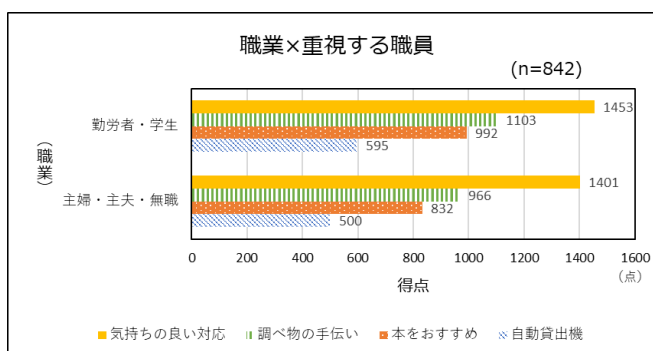
クロス集計(利用頻度×重視する職員)



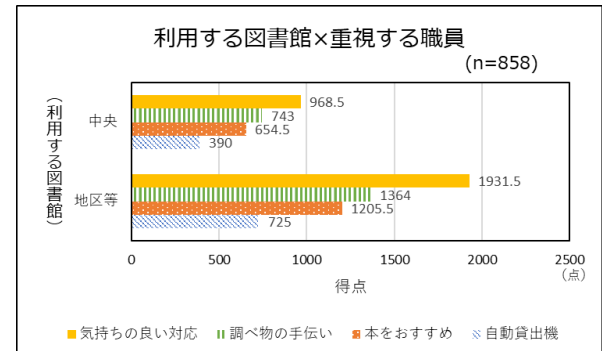
クロス集計(年齢×重視する職員)



クロス集計(職業×重視する職員)



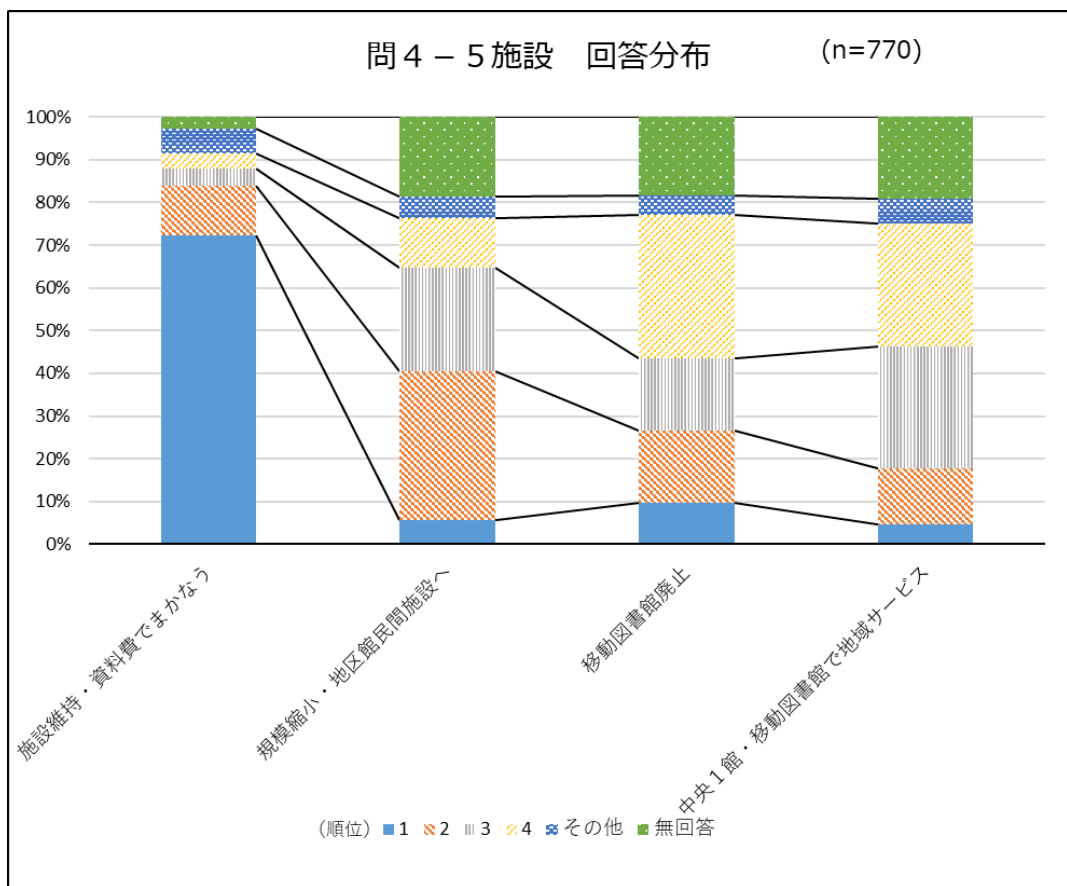
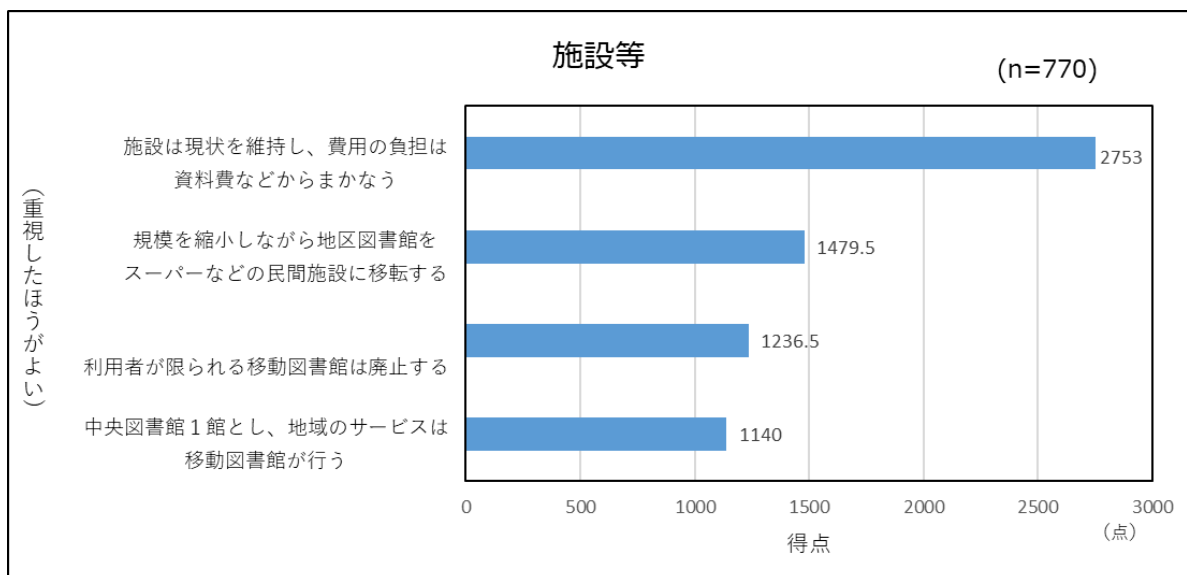
クロス集計(利用する図書館×重視する職員)



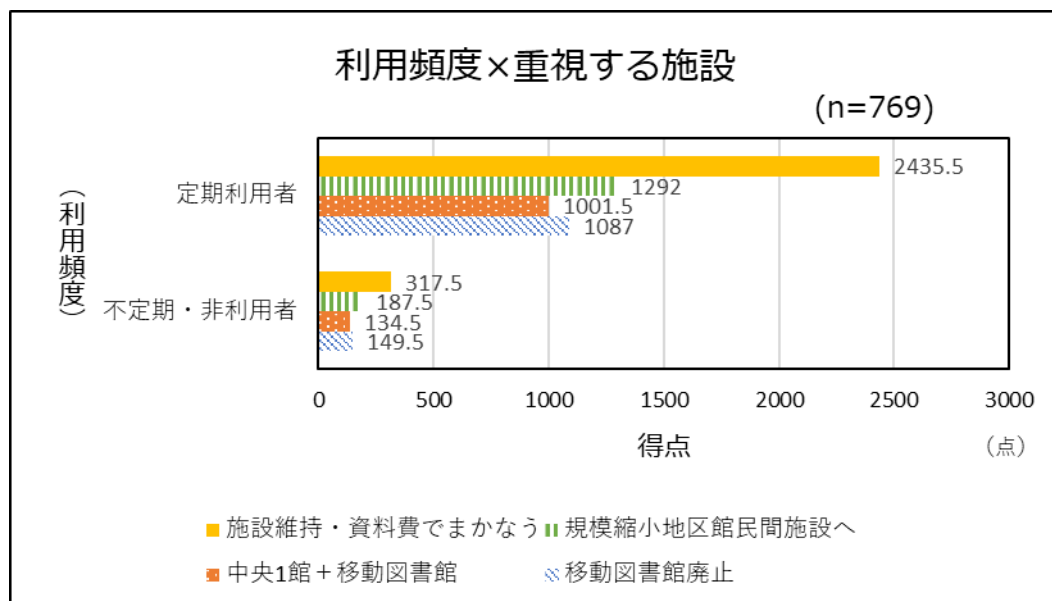
(問4-5) 施設等について

重視したほうがよい	得点	順位
施設は現状を維持し、費用の負担は資料費などからまかなう	2753	1
規模を縮小しながら地区図書館をスーパーなどの民間施設に移転する	1479.5	2
利用者が限られる移動図書館は廃止する	1236.5	3
中央図書館1館とし、地域のサービスは移動図書館が行う	1140	4

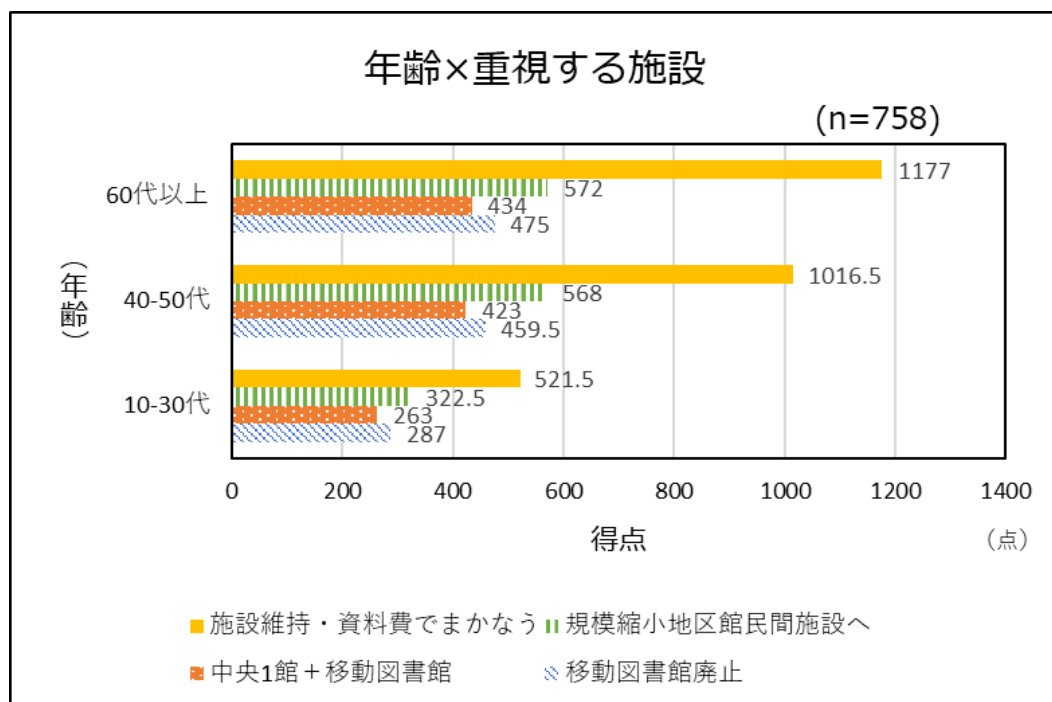
(n=770)



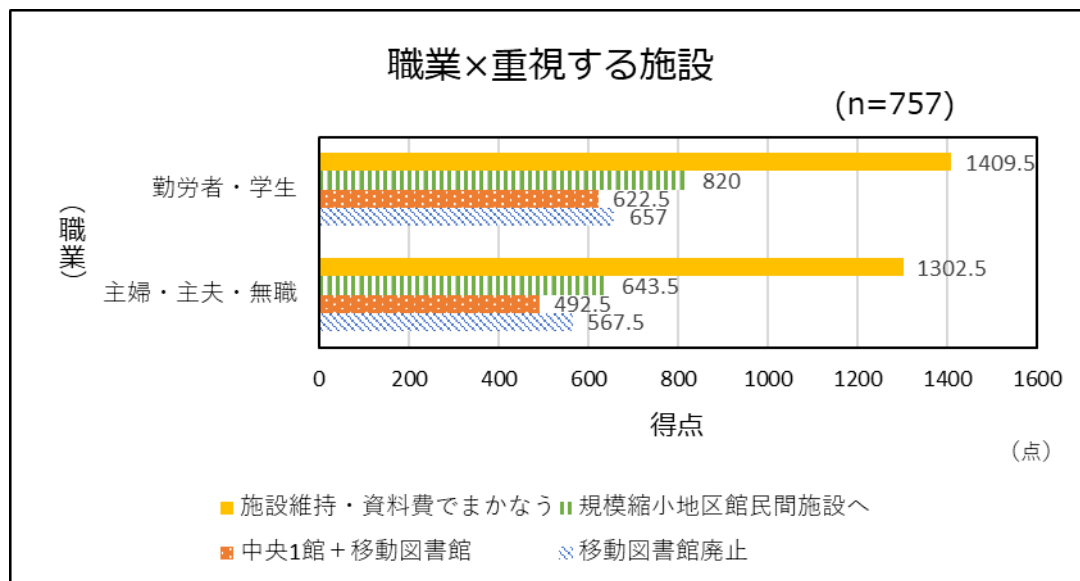
クロス集計(利用頻度×重視する施設)



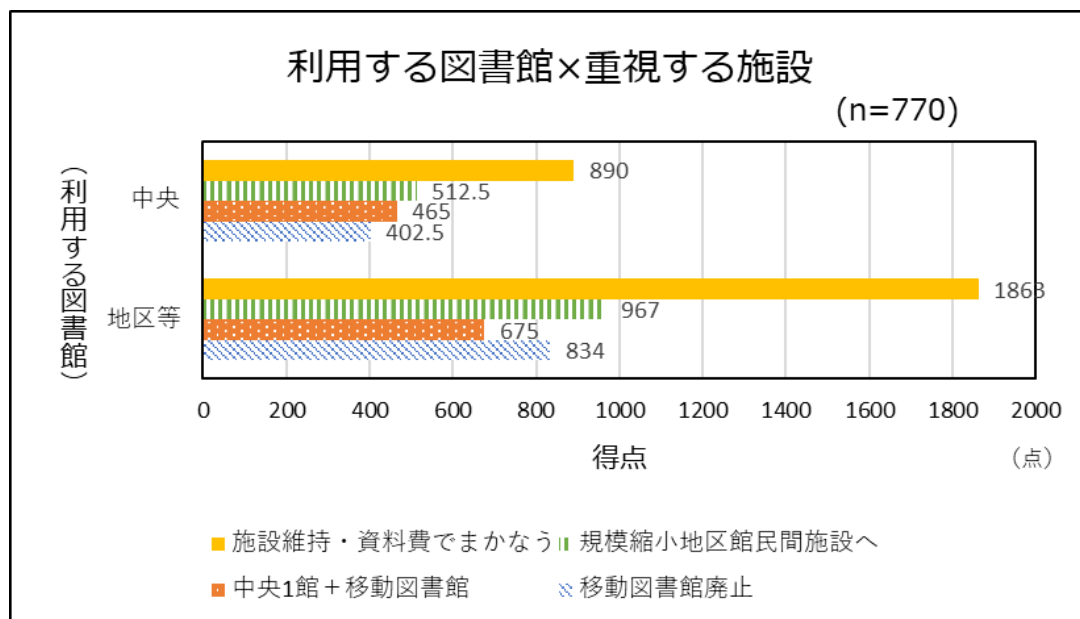
クロス集計(年齢×重視する施設)



クロス集計(職業×重視する施設)



クロス集計(利用する図書館×重視する施設)



（問5）将来の平塚市図書館への考えやアイデア（自由記述）

※代表的・特徴的なご意見を掲載しています。

（1）立地・サービス網・開館時間

- ・駅周辺で貸出・返却・予約の受取りができるとよい。
- ・駅周辺に図書館がほしい。
- ・4館と移動図書館の体制を維持してほしい。
- ・定住促進をアピールするならば公民館や図書館などもあってもしかるべき。
- ・人口規模に対して図書館が多すぎる。
- ・地域の館がなくなったら文化的な格差がある地域の子も達が心配である。
- ・車の運転ができないため、中央図書館は行きづらく、あおぞら号を利用している。私のようなマイノリティを救ってくれるのがあおぞら号だと思う。
- ・移動図書館の巡回数や場所（ポイント）を増やしてほしい。
- ・移動図書館は冊数も限られるし、あまりよくないと思う。
- ・平塚駅周辺、小学校、中学校等の図書館も考えてもらいたい。
- ・美術館、博物館、図書館、映画館と文化的施設が多いことが魅力である。
- ・図書館、博物館などの文化施設を一か所にまとめ、レストランなども併設して楽しい場にしてほしい。
- ・各図書館の休みを別々にしてほしい。
- ・仕事や学校の後でも利用できるようにしてほしい。

（2）施設・設備

- ・市役所の一角や駅近のビルのフロアで運営するなど、図書館として独立した建物にする必要はない。
- ・老朽化しているので建て替えてほしい。耐震が心配。
- ・館内が臭う。狭い。暗い。清潔感のある雰囲気になってほしい。
- ・トイレ、洗面所を清潔で使いやすくしてほしい。
- ・ベビーカーのまま入れるトイレがほしい。
- ・書庫へ入ることができるとよい。
- ・膝より低い所にある本や雑誌が探しにくい。取りやすくしてほしい。
- ・ゆったりできる、くつろげるスペースがほしい。
- ・カフェ、軽食堂、売店、福祉施設等で作られたパンや地元産の菓子の販売、お茶が楽しめるスペースがほしい。
- ・ベビースペースもあると、未就学児のママ達が集まりやすくなる。
- ・小グループが時間制で利用できる学習室や会議室があるとよい。
- ・自習スペース／静かに読書するスペース／談話スペース／子どもが遊べるスペース／イベントスペースを分けてほしい。
- ・印字される読書通帳を導入してほしい（少額の代金がかかってもよい）（子ども向け）。
- ・水飲み場（ウォータークーラーやウォータージャグ）がほしい。
- ・服装、においが気になる人がいる。
- ・駐車場が使いやすく便利。
- ・駐車場の料金の無料時間を延長してほしい。

(3) 場としての機能

- ・子育てや自分の休息や気分転換にとっても大切な場になっている。
- ・平塚市図書館はどこへ行っても、二昔前の雰囲気のままに入りづらい。
- ・もっとイベント・施設・レイアウト等若返ってほしい。
- ・日々のストレス解消、精神的な癒し、知的欲求を満たす場所。
- ・図書館・カフェ・本と書き物ができる明るく・開放的・オシャレなスペースがほしい。
- ・家庭の事情で家にいられない人、学校に行きたくない子どもたち、行かなくてはならない場所に行けない大人たちの居場所、避難所。
- ・図書館という無料の行政サービスは弱者に優しく、今後さらに経済的弱者が増える時代に必要なサービスだと思う。
- ・地域には年齢や環境的に図書館に行きにくい人がたくさんいることを実感している。あおぞら号がそういう人達や地域のつながりをつくってほしい。
- ・図書館だと子どもが騒いだり落ち着かないと気になってしまうが、あおぞら号だと気兼ねなく利用できた。
- ・職場であおぞら号にお世話になっている。個々の人がそれぞれ自分の感性で選ぶことができることに色々と刺激をいただいている様である。

(4) 資料

- ・新刊、話題の本の購入を増やしてほしい。
- ・本棚にゆとりがほしい。
- ・新刊を何冊も揃えるのではなく、なるべく多くの種類の本を所蔵してほしい。
- ・子どもが本を好きになる工夫として、まんがを増やすのもありかと思う。
- ・多読用の簡単な英語の絵本を増やしたり、コーナーを作ったりしてもらえたらうれしい。
- ・洋書、文庫本、観光ガイドが少ない。
- ・社会福祉、法律や税の資料は最新のものを常に用意してほしい。
- ・問題集など、勉強できるわかりやすい本があったらいい。
- ・個人では購入等が出来ない資料の充実。
- ・CD、DVD の寄贈受入、貸出を拡充してほしい。
- ・高齢者が利用しやすい字が大きい本(大活字本)や朗読 DVD などがほしい。
- ・平塚ゆかりの本や作家の本、平塚の歴史、戦争の記録など貴重な本を残し、調べられるようにしてほしい。
- ・市内4館の本や雑誌を回してほしい。
- ・作家別ではなく、分野が異なってもシリーズものや関連性のあるものをまとめた棚へ置いてほしい。
- ・電子書籍のレンタルなど、デジタル対応をしてほしい。来館しなくても利用できるようにしてほしい。

(5) サービス

- ・貸出期間・点数を増やしてほしい。
- ・リクエスト(所蔵がない本の予約)もネットでできるようにしてほしい。
- ・自動貸出機を導入してほしい。
- ・子どもの年齢別おすすめの本コーナー、ブックリスト、図書館のWebで情報提供がほしい。
- ・読み聞かせのおすすめコーナーや一覧があると助かる。
- ・本が大好きになるようなポップや陳列が必要かと思う。
- ・無人化。
- ・外国の方のニーズ等も考慮するといいいのでないか。

- ・宅配サービス(ボランティアでも)。
- ・予約資料の時間外受取り。
- ・窓口の委託化で、サービスの質が向上することを期待する。

(6) イベント

- ・小・中学生対象のビブリオバトル大会。
- ・小・中学校へ出張読み聞かせ。
- ・土・日も子ども向け(未就園児だけでなく、小学生も)の読み聞かせやイベントがあるとよい。
- ・博物館と連携して調査研究したものの公開を子どもたちにすすめる。
- ・アンティークショップなど、のみの市の様なイベント、コンサートなどを開催する。
- ・図書館に泊まる。
- ・読書感想文、ポップや推薦文の募集、コンテスト。
- ・本屋のようにおすすめの書籍が平置きポップなどで展示されているとうれしい。
- ・体験型のアクティビティ等があるとよい。
- ・介護の参考になる、認知症予防の本の利用…などの講座があると助かる。
- ・地域の企業や大学とタイアップしたコーナー、セミナーやイベント。
- ・美術館、博物館との3館の合同企画など、とてもよいので今後も継続してほしい。
- ・イベントの開催もしてほしいが、静かな環境もある面では必要とも思う。

(7) 運営形態・財政的な活動

- ・寄付の仕組みをととのえる。
- ・寄贈を呼びかける。
- ・中央図書館と地区図書館1～2館にしぼり、建て替えたり資料の充実を図ったりする。
- ・福祉会館の中に図書を置く。
- ・現在の私には不自由、不満はない。図書館について私の学校として感謝している。
- ・図書館は文化のバロメーターであり、文化の維持・発展には欠くことができない。
- ・あれば役立つ施設(例えば、図書館、博物館、美術館、公民館など)が備わっている自治体ほど住みたくなる。
- ・財政難は理解できるが、経費削減、効率性だけを重視する自治体になってほしくない。
- ・図書館は誰でも自由に、平等に使用できる施設であってほしい。
- ・市民の生涯学習教育の拠点として、地方の産業振興の柱として利用できるように図書館を拡充する。
- ・大和市のシリウス他、他県の施設のコンセプトを参考にすべきと思う。
- ・駐車場の有料化や窓口サービスの民間委託化など文化活動に対する考え方が平塚市は非常に貧しいと思う。
- ・子育てしやすいまちづくりを掲げるのなら、子どもが無料で本を借りられる場所を少なくするべきではないと思う。教育の格差を無くす活動などを図書館からも発信してもらいたい。
- ・大人も長い人生でいろいろ難しい問題が出てくるし、学ぶ必要がある。そんな時に、手助けしてくれる本を提供してくれる図書館は大事なところだと思う。より利用しやすい、いろいろな人が沢山の本と出合える図書館を縮小ではなく拡大させる位のポジティブな方向で施策にあたってほしい。
- ・人の集まる拠点に、本を借りる、DVD等を借りる、美術館の併設、カフェや飲食店やキッズスペース等を置くような、複合型施設を設置してもらいたい。
- ・他市に比べると直営図書館としても、資料、サービスとも不足している。十分なサービスができていないのに経費がないといって民間にまかせてしまうことに疑問を持つ。また、図書館(現在)がきちんとしたビジョンを持っていないの

に、民間に移行することはこれ以上のサービスはのぞめない。

- ・もう一度基本のところから議論を組み立てるようにすべきではないでしょうか。その場合パンフレット『公共図書館－「新しい公共」の実現をめざす－』が重要なポイントを示していると思う。
- ・「縮小」「削減(資料費)」「廃止」とやたら寂しい、ネガティブに聞こえる言葉が並んでいるのが引かなかった。新規獲得の方に力を入れてほしい。
- ・施設と資料費と職員の3者が欠けることのないように希望したい。
- ・海老名中央図書館方式のような運営方式や大和図書館のような複合施設にするのもいい。
- ・喫茶店のある図書館にはならないでほしい。
- ・将来的には民間の企業とのコラボが必須ではないか。

(8) 広報

- ・イベントの宣伝を地域新聞や広告にのせてほしい。
- ・図書館だより(本の紹介、イベント等)をネットで流す。

(9) 職員

- ・司書の方々の対応もていねい親切でよくお世話になっている。質・人員等、今後も充実した形が保てること願う。
- ・本をしっかりと扱って知識のある感じのよい、また来たくなる司書がいるのであれば利用者は絶対に増える。
- ・本の事をわかっているのか？という職員もいる。
- ・カウンターに対応が不愛想で感じの悪い人がいる。
- ・委託では安い人件費の人が増えるだけ。職員で運営することが大切である。
- ・現在は手慣れた司書が希望の本を探してくれる。民間業者ではなく、窓口(貸出)は現状を変えない方がよい。
- ・できる限り専門性の高い正職員の方を人数多く配置する。
- ・やる気のある職員を少数精鋭で登用。
- ・ボランティア(図書整理、配架など)を募集し、職員の負担を減らす。

以 上